

残生

小野澤繁雄

生活感は車よりあるやみるときにすむ人確か庭に自転車

位置取りはなんの関係交差点待つあいだにも位置取りをして

冬畑は何もなくして畑の人花の話がロウバイになる

バス停にきてしる読みの向台生むじうだいきてこのよの解のひとつか

米に名がついてより幾年月か「天のつぶ」これは福島のもの

隣地には孫がすむというみちに出て終戦間際の今日もその話

ちぎれんがごとくに風に風車鳥除けの鳥みることもなく

花木なき一月の庭草花の類いなれどもすいせんが隅

老年は犬にもありて残生はわずかなるかなやあわれさに似る

冬川は合流点に歩ききつ対岸は自転車学校生徒ら走る